

七五三

11月に入ると、あちこちの神社で七五三参りをして
いる姿を見かけますね。昔は子どもの生存は難しく
「7歳までは神のうち」と言われるほど。

七五三の習慣は、平安時代に子供の成長を願い、そし
て無事成長したことを感謝しお祝いしたのに始まり、
江戸時代に今のような形になったと思われます。
当時は数え歳で旧暦でした。



3歳は髪置きの儀：もともと性別問わず生後7日目に髪を剃る習慣でしたが
それを終了するのが3歳

5歳は袴着（はかまぎ）の儀：男の子が初めて袴を身につける儀式で、江戸
時代からそうになりましたが、平安時代は男女共通

7歳は帯解（おびとき）の儀：幼い子は付紐のついた着物を着ますが、7歳
から初めて大人と同じように帯を締めます



3歳に言葉、5歳で知恵、7歳で永久歯を神様から授かっ
たことに感謝する説や、子どもの厄年という説、奇数は縁
起が良いからなど諸説あり、また、地方によっても違うの
で、あまり慣習にとらわれず、柔軟な対応をしましょう。
兄弟がいる場合など、上の子は数え歳で下の子は満年齢で
とか、早生まれの子の場合は、など。

また、幼い子は疲れやすく、11月15日付近の週末や吉日は混雑するので、
9月から12月初旬くらいまで幅を持たせて空いている日時にしたり、着物
でなく洋装にしたり、神社の予約や、写真はどこで取るか、など、早めに
決めるといいようです。

ともあれ、一生の思い出に残るすてきな行事になるといいですね。

